

前書き

「楽しかったです」じゃだめなの？」

「この気持ちをどう言葉にしたらよいかわからない」

「自分の気持ちがわからないのに他人に伝えるだなんて」

古今東西、老若男女、だれもが経験したことがあるのではないのでしょうか。

子どもから大人まで、思っていることを伝えたいとき、その手助けになるような「ことば探し」のための一冊があればと思い本書を企画いたしました。

日常生活に必要な基本的な言葉から、ちょっと気のきいた表現まで、おおよそ2,500項目を収録しています。簡潔な説明を添え、使用例も示しました。巻末の索引を活用すれば、連想からさらに語彙を豊かに、感情のひだをこまやかにすることにもつながるでしょう。あるいは創作において、登場人物の心の葛藤を描き、人物の描写をより鮮明に、より深くするためにも資するはずです。

本書があなたの相談役となり、言葉があなたの味方になりますように！

伝えたいことがあるすべての人に——
さまざまな機会に皆さまのお役に立てば幸いです。

2022年10月 三省堂編修所

目次

前書き	3
この辞典の使い方	8

ポジティブな気持ち

うれしい	14
楽しい	18
気持ちがいい	20
満足だ	22
幸せだ	24
安心だ	26
気楽だ・リラックスする	28
盛り上がる	30
自信がある	32
元気だ・無事だ	34

ネガティブな気持ち

悲しい	40
苦しい	44
腹が立つ	48
不満だ・不愉快だ	52
くやしい	54

後悔する	56
落ち込む・むなしい	57
さびしい	60
傷つく・不幸せだ	62
疲れる	64
うぬぼれる	66

さまざまな気持ち

おどろく・あきれる	70
恥ずかしい・照れる	75
緊張する	80
がんばる	82
困る	86
しかたない	90
迷う	91
悩む	94
急ぐ・焦る	96
忙しい	99
ゆっくりやる	102
退屈だ・飽きる	103

人や物事にかかわる

好き	106
愛する・恋する	108
心引かれる・共感する	113
なつかしい	116
信用する・頼る	118
認める・許す	120
望む・願う	122
欲しい	124
期待する	126
必要だ・不要だ	127
大切だ	128
誇らしい	130
感動する	132
夢中だ・没頭する	134
うらやましい	136
怖い	137
心配だ	140
嫌い	142
憎い	144
うらむ	145
感謝を伝える言葉	146

謝罪を伝える言葉	148
お祝いを伝える言葉	149

人や物事のようす

すばらしい・すぐれている	152
悪い・劣っている	156
上手だ	158
下手だ	160
かわいい	162
美しい	165
みにくい	168
かわいそう	169
あやしい・不思議だ	170
うっとうしい・面倒だ	172
おもしろい	174
つまらない	176
味わいを伝える言葉	178

索引	180
----	-----

この辞典の使い方

この辞典に収録した言葉

5カテゴリ／69テーマ／約2500項目

内面からわきおこる感情や、人や物事に触れ生じる気持ち、人や物事の様子を描く言葉など、感情に関する表現を取り上げました。

言葉の探し方

● 目次から探す

目次にはカテゴリとテーマ名を示しました。

- ① あらわしたい気持ち・描きたい気持ちを目次で探す。
- ② 目次に書いてある数字のページを開く。
- ③ そのテーマ全体をながめて探す。

求める言葉がない場合は……

テーマタイトルの下に関連するテーマを → で示しているの、そのテーマもご覧ください。

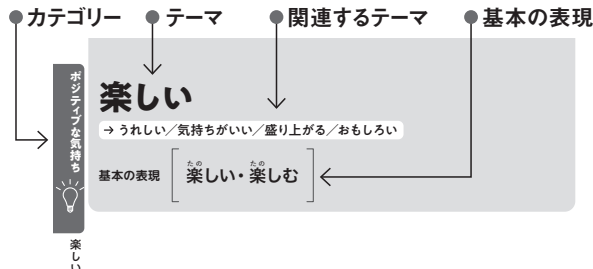
● さくいんから探す

この辞典に掲載した言葉を五十音順に並べたさくいん(索引)を巻末(●ページ～207ページ)に付しました。

- ① 思いついた言葉をさくいんで探す。
- ② さくいんに書いてある数字のページを開く。
- ③ 似た言葉や言い回しが出ているので、周辺の言葉をながめて探す。

なお、太字の数字は、その言葉をテーマとして取り上げているページを表しています。

この辞典の見方



● 表現例…さまざまな表現や修飾する言葉がわかる

★安心する様子を描いて

- ・学会での発表が終わって息をついた。
- ・仕事がようやく一段落し、コーヒーをいれて一息ついた。
- ・迷子になっていた子供が見つかって、胸をなで下ろした。

★どんな幸せ？

ありがたいき ささやかな ちっぽけな 最高の 望外の 願ってもない 究極の 無上の 永遠の つかの間の 人並みの 平凡な

★のところには、類似する表現例を豊富に示しました。
太字で示した箇所はテーマの言い換えにあたる部分です。
また、どんな言葉と結びつきやすいかなども示しました。

● 配列…似た表現が近くに並ぶ

「喜ぶ」のいろいろ

歡喜 かんき とても喜ぶこと。あふれるうれしさを外に表して喜ぶ様子。

「勝利に一する／一の声を上げる／一に輝く顔」

驚喜 きょうき 思いがけない出来事に出あって喜ぶこと。

類義語のなかでも、それぞれ近い意味のものをまとめて示しました。
似た言葉を探しやすいよう、グレー地にタイトルを示したところもあります。

● 表記…よく使われる表記を見出しに

うららか 【麗らか】①空が晴れ、太陽がのどかに照っている様子。

見出しはよく使われる表記を示しました。かな書きが多く漢字表記も見られるものは【】内に参考表記を示していません。

● 解説…語義は簡潔に、補足情報は丁寧に

たの 心が弾むような明るい気持ちだ。
楽しい 【一日々・夏休み・思い出】／楽しく(過ごす・遊ぶ・語り合う)】
 *「たのしい」は一般的に「楽しい」と書く。心にわだかまりがなく、ゆったりたのしむニュアンスで愉しいと書くこともある。

語義はわかりやすい言葉で簡潔に示しています。その言葉の表記や意味のニュアンスなど補足的な情報を*で示しました。

◆「のうのう」も「ぬくぬく」も心配事や苦労がなくのんびりしている様子。ネガティブなニュアンスで用いることもある。

いくつかの言葉に関する微妙な違いは、囲んで示し、◆を付しました。

● 用例…使い方がわかる例を豊富に

うれ いいことが起こったり満足でいい気持ちだ。
嬉しい 【再会できてー／ー(出来事・ニュース・便り・知らせ)】／嬉しくて(たまらない・心が弾む)】

用例を豊富に示しました。一は見出し部分を表します。ここではこれだけの例をあげています。「再会できて嬉しい」「嬉しい出来事」「嬉しいニュース」「嬉しい便り」「嬉しい知らせ」「嬉しくてたまらない」「嬉しくて心が弾む」活用するところは太字で示しました。

● その他の表現…さらに語彙を豊かに

その他の表現
 ハッピー・ラッキー・ついでに・棚から牡丹餅^{ぼたんもち}・運が開ける・運が向く・拾い物・儲け物

その他にもあるさまざまな表現を末尾に添えました。

参考情報

辞典は言葉をたくさん掲載していますが、どんな言葉を使うのが適切かという解答を示すものではありません。言葉遣いに迷うときなどに参考になるものをここに挙げます。インターネット検索等でご確認ください。

- 「分かり合うための言語コミュニケーション」文化審議会国語分科会報告(平成30年3月2日)
 言語コミュニケーションにおいて意識すべき大切な要素として、「正確さ」「分かりやすさ」「ふさわしさ」「敬意と親しさ」の四つを掲げています。
- 各種コーパス類
 公開されているコーパス(言語資料。ことばのデータベース)には、コロケーション(語と語の慣習的なつながり)を検索できるものもあります。



うれしい

→ 満足だ／楽しい／幸せだ

基本の表現 うれしい・喜ぶ

★うれしさ・喜びを伝える基本表現

- (とても・本当に・心から・心底・すこぶる)うれしい。
- うれしく思います／うれしゅう存じます／うれし限りです。
- 喜ばしく(思います・存じます)／(とても・本当に・心から)喜んでおります／喜びにたえません。

★どんなふうにうれしい?

- (ことさら・ことのほか・何より・ひどく・たまらなく)うれしい。
- 合格できて飛び上がるほどうれしい。
- 姉が素敵なプレゼントをくれて、うれしくて飛びつきたいほどだった。
- ようやく退院でき、うれしくてたまりません。
- 売り上げが倍増し、笑いが止まらない。
- 思いやりのあふれる言葉に、うれしくて目頭が熱くなった(=涙がこぼれそうになった)。

★どんなふうに喜ぶ?

- 妹が文学賞を受賞したとの知らせに、みな飛び上がって喜んだ。
* 躍り上がって喜ぶともいう。

- 大好きな叔母が帰ってくると聞き、小躍りして喜ぶ。
- 大きなケーキが運ばれてきて、みな手を叩いて喜んだ。
- 賞状を授与され、涙を浮かべて喜ぶ。
- 決勝進出が決まり、部員一同手を取りあって喜んだ。
- 町内会で会長を言い負かして、鬼の首を取ったように喜んでいる。
- 受賞の知らせに、手の舞い足の踏む所を知らず喜ぶ。
* 舞い上がって踊り出すほど喜んでる様子をいう。

★うれしさや喜びの表情

(顔・目)を輝かせる 目を細くする 目尻を下げる 相好(あはれ)を崩す(=顔をほころばせて笑う) 満面の笑みを浮かべる 顔をくしゃくしゃにする

★「喜び」につながる言葉

- (大きな・最高の・至上の・たえようのない・望外の・何物にも代え難い・晴れやかな・ささやかな・ひそかな・確かな)喜び
- 喜びが(湧き上がる・こみ上げる・あふれる・にじむ)

- 喜びを(噛み締める・味わう・共にする・分かち合う・語る・隠せない・抑えられない・あらわにする)

★オノマトペで

- 浮^うき浮^うきして会場に向かう。
- いそいそと外出の支度をする。
- お小遣いをたくさんもらってほくほくする。

うれしい **嬉しい** いいことが起こったり望みどおりになったりして、満足でいい気持ちだ。

「再会できてー／ー(出来事・ニュース・便り・知らせ)／嬉しくて(たまらない・心が弾む)」

うれしい **喜ぶ** いい出来事があり、うれしいと思う。

「無事をー／喜んで(引き受ける・参加する・従う)」

*「よろこび」は一般的に「喜ぶ」と書く。お祝い文などではお慶び申し上げますなども書く。ほか、歡ぶ・悦ぶ・欣ぶと書くこともある。

うれしい **喜ばしい** よろこぶべきことだ。「成功したとはー／ー(出来事・知らせ・傾向)／(誠に・なんと)ー」

うれしい **有り難い** うれしく、感謝したい気持ちだ。

「(親切が・心遣いが・優しい言葉が・雨が上がつて)ー／一言言葉に心が温かくなる／有り難くいただきます」

うれしい **浮かれる** うれしさや楽しさに、じっとしていられない

気持ちになる。「やっと合格し、浮かれている／浮かれて騒ぐ」

舞い上がる^{ま あ} うれしくて平静さを失う。

「ベタぼめされてー／すっかり舞い上がってしまい、うまく話せなかった」

よるこ **喜び勇む** うれしくて心が奮い立つ。

「またとない誘いの手紙に、喜び勇んで返事を書く」

う ちょう てん **有頂天** この上なく喜ぶ様子。「代表選手に選ばれて一になる」

てん **天にも昇る心地** この上ない気持ちのたとえ。

「とうとう憧れの人に会えて、一だ」

* 天にも上がる心地ともいう。

さん き **欣喜雀躍** 小躍りして喜ぶこと。「願いが叶って一する」

* スズメが躍るように喜ぶ意。

ぼん **盆と正月が一緒に来** うれしい出来事が重なることのとたとえ。

「留学が決まった上に論文が入賞、一だ」

かん てん **千天の慈雨** (日照りが続いて)いるときに降る雨

のように苦しいときに助けられてとてもうれしいことのとたとえ。

じ じごく **地獄で仏** (地獄で苦しんでいる)ときに仏に出会うように

(に)困っているときに助けられて、と



冥利に尽きる みょうり につ その立場にある者として、この上ない喜びだと思ふ。「大喝采を浴び、役者一」
恐悦至極 きょうえつ せいごく 相手の好意などをありがたく思い、この上なく喜ぶ様子。「一に存じます」
 * 恭悦至極とも書く。目上の人への感謝の手紙などに用いる。

その他の表現

ガッツポーズ・ピース・ハイタッチ・うはうは

愉悦 ゆえつ 心から楽しみ喜ぶこと。「一をまたらす／一に浸る／一のひととき／無上の一」
随喜 ずい ぎ ①他人の善い行いに接し、喜びを感じること。【仏教語】
 ②ありがたく思い、とても喜ぶこと。「一の涙を流す」
糠喜び ぬか よろこ 後で当てが外れてがっかりすることになることを、そうとは知らずに喜ぶこと。「今度こそデートできると思っただった」
 * 空喜びともいう。
一喜一憂 いっ き いち いう 状況の変化につれて、喜んだり悲しんだりすること。「試合の進行に一する」

心中で喜ぶ

気をよくする き 物事がうまくいくなどして、いい気持ちになる。「おだてられて一」
悦に入る えつ い 物事がうまくいって満足し、心の中で喜ぶ。「手に入れた品物をながめて一」
満更でもない まん さら それほど嫌ではない。「指名されて、一顔をしている」
 * 「実はかなりうれしい」というニュアンスを含むことがある。
悪い気はしない わる き 嫌ではないでもない。「誰でもほめられれば一」

相好を崩す そう ぐう ぐず 「相好」は表情の意)うれしくて思わずにっこりする。「初孫誕生の知らせに祖父は**相好を崩した**」
嬉しい悲鳴 うれ ひ めい 悲鳴を上げるほどうれしいこと。うれしいことがあって喜ばしいが、それによって忙しくなるなど困った状態になること。「SNSで紹介されたたとたん、注文が殺到し生産が追いつかず、一を上げている」

「喜ぶ」のいろいろ

歓喜 かん き とても喜ぶこと。あふれるうれしさを外に表して喜ぶ様子。「勝利に一する／一の声を上げる／一に輝く顔」
驚喜 きょう き 思いがけない出来事に出あって喜ぶこと。「20年振りの再結成一にする」
狂喜 きやう き 尋常でないほどひどく喜ぶこと。「合格の知らせに一する／一乱舞」
満悦 まん えつ 満足して喜ぶこと。「すべてうまくいってご一だ」
喜悦 き えつ 心から喜ぶこと。「目に一の色を浮かべる／一満面」
法悦 ほう えつ ①仏法を知り味わうことの喜び。【仏教語】
 「一を得る」
 ②うっとりするような喜び。「一に浸る」



てもうれしいことのとえ。「道に迷っているときに知人に会会い、一の気持ちになった」
闇夜の提灯 やみ よ ちよう ちん (暗闇で明るい提灯に出会うように) 困っているときに助けになるものに出会うことのとえ。
お祭り気分 まつ きぶん (お祭りのときのように) 気持ちが高ぶること。「町中が一に包まれる」
嬉々として き き 喜びうれしがって。「子供たちは一贈り物を受け取った」
欣然 きん ぜん 物事を喜んでおこなう様子。「地道な仕事を一として進める」
欣々 きん きん にこにこして非常に喜ぶ様子。「一として任地に赴く」
 * 欣々としたさまを**欣々然**ともいう。
歡呼 かん こ 喜んで声を上げること。「一の声／来日したスターを一して迎える」
歡声 かん せい 喜びのあまり上がる声。「一を上げる／客席に一が上がる」
快哉を叫ぶ かい さい 痛快な出来事などを喜び、思わず声を上げる。「勝訴のニュースに一」
嬉し涙 うれ なみだ うれしくて流す涙。「再会に一を浮かべる」
感涙にむせぶ かん れい うれしさや感激、感謝を深く心に感じ入って涙を流す。「友の深い思いやりに、一」



楽しい

→ うれしい／気持ちがいい／盛り上がる／おもしろい

基本の表現

[^{たの}楽しい・^{たの}楽しむ]**楽しい** 心が弾むような明るい気持ちだ。

「(一日々・夏休み・思い出)／楽しく(過ごす・遊ぶ・語り合う)」

*「たのしい」は一般的に「楽しい」と書く。心にわだかまりがなく、ゆったりたのしむニュアンスで楽しいと書くこともある。**心楽しい** なごやかで楽しい気持ちだ。

「水辺で一時を過ごした」

愉快 ゆかい 楽しくて心が浮き立つ様子。

「笑い出たくなるような気持ちである様子。」

「毎日一に暮らす／一な(一日・話・旅)」

おもしろい 【面白い】心楽しく感じられる様子。「旅先でおもしろく過ごした／一ほど(釣れる・仕事はかどる)」**わくわくする** 期待や喜びで心が弾む。

「話の続きが楽しみで一」

「楽しむ」のいろいろ**楽しむ** ^{たの}何かをするなどして、楽しんで感じる。

「(休日・余生・会話・景色)を一／山を

歩いて一」

慰める ^{なぐさ} 心を楽しませる。悲しみや寂しさなどを一時まぎらわす。「音楽を聞いて傷ついた心を一／友人の冗談に心が慰められる」**享受** ^{きょうじゆ} 物事の恩恵を受け、味わい楽しむこと。

「(文学の楽しみ・物質文化・自由)を一する」

享楽 ^{きょうらく} 快楽を味わい楽しむこと。

「一に(ふける・溺れる・浸る)／(人生・自由)を一する／一の風潮／束の間の一」

満喫 ^{まんきつ} 思う存分楽しむこと。

「(自由・春・テニス・たまの休日・大自然)を一する」

興じる ^{きよう} 楽しんで、愉快的な時を過ごす。

「(囲碁・ゲーム・おしゃべり・昔話)に一」

* **興ずる**ともいう。**興に乗る** ^{きよう} ^の何かをしておもしろいと思ひ、ますますおこなう。「**興に乗り**、声を張り上げて歌う」* **興に乗じる(乗ずる)**ともいう。**興に入る** ^{きよう} ^い 興味を感じ、おもしろがる。「愉快な音楽に**興に入**って踊り出した」**謳歌** ^{おうか} 恵まれた境遇などを大いに楽しむこと。

「(青春・学生生活・一人暮らし・平和・我が世の春)を一する」

堪能 ^{たんのう} 物事をじゅうぶんに味わって楽しむし、満足すること。

「(手料理・冬の味覚・紅葉・プロの技)を一する」

*「足んぬ(=じゅうぶんに満足する)」の変化した言葉で、「堪能」は当て字。「堪能^{がた}(=技芸などにすぐれていること)」との混同が生じた。**歓を尽くす** ^{かん} ^つ じゅうぶんに楽しむ。

「旧友と一夜の一」

「楽しみ」のいろいろ**楽しむ** ^{たの} 楽しいと感じること。また、そのような物事。

「音楽の一／読書を一に生活する／何の一もない／一を見いだす／成長が一だ」

気晴らし ^{きば} 何かをして楽しみ、ふさいでいる気持ちなどを晴らすこと。気散じ。

「一に散歩する／いい一になる／たまには一も必要だ」

愉楽 ^{ゆらく} 喜び楽しむこと。

「一に(ふける・身を委ねる・生きる)／(最上・天上)の一」

悦楽 ^{えつらく} 喜びを味わい楽しむこと。

「一に(浸る・酔う)／至上の一

／深い一」

快樂 ^{がいらく} 心地よく楽しいこと。

「食の一／一を(味わう・むさぼる・求める・追求する)」

* 特に官能的な満足をいう。

娯楽 ^{ごらく} 余暇におこなう遊びや楽しみ。

「一(室・施設・小説・映画・番組)／テレビが唯一の一だ」

逸楽 ^{いつらく} 気ままに遊び楽しむこと。

「仕事もせず一にふける」

歡樂 ^{かんらく} 喜び楽しむこと。喜びや楽しみ。

「一街／一に酔う／一を尽くす」

興 ^{きよう} 心に感じる楽しさやおもしろみ。**一興** ^{いっきよう} 「一を(覚える・そそる・引く・添える)／一が(湧く・尽きない)」**一興** ^{いっきよう} ちよつとした楽しみやおもしろみ。**感興** ^{かんきよう} 「夜中の散歩も一だ」

おももしろいと思ひ、興味が湧くこと。

「美しい風景に一を催す／一を(そそられる・覚える・かき立てる・誘う)」

その他の表現

エンジョイ

気持ちがよい

→ 楽しい / 満足だ / 安心だ / 気楽だ / リラックスする

基本の表現 **気持ちがよい・爽やかだ・すっきりする・晴れやかだ**

心地よい

気持ちがよい【気持ちがよい】体や心に受ける感じがよい。気持ちがよい。

「一(風・朝・笑顔・挨拶・青年) / 早朝の散歩は実に一」

心地よい【心地好い・心地良い】気持ちよく感じられる。

「一(風・眠り・音楽・感触・距離感)」

* 穏やかさや爽やかさのニュアンスを含むことが多い。

① 気持ちがよく感じられる。

快い【一(冷気・刺激・眠り・音楽・緊張) / 汗ばんだ肌に夜風が一】

② 不愉快に思わない。好ましく思う。「一返事 / 依頼を快く引き受ける」

快適【一(ホテル・旅・乗り心地・室温) / 爽やかだ・すっきりする】

「一(強烈な・穏やかな・言いようのない・勝利の)一」

快感【一(高原の朝・空気・空・香り・笑顔) / 爽やかだ・すっきりする】

「一(姿勢・服装) / マッサージをしてもらおうとずいぶん一になる」

極楽【心配や苦しみが何もなく、この上なく楽な状態。[仏教語]】

「この世の一を味わう / 一、一(風呂に入った時などに漏らす言葉)」

たまらない【堪らない】この上なくいい。

「マラソンの後の一風呂は一」

恍惚【一として(見入る・聞きほれる) / 一の境地】

爽やかだ・すっきりする

爽やか【一(冷気・刺激・眠り・音楽・緊張) / 汗ばんだ肌に夜風が一】

「一(風・初夏の日・酸味・香り・笑顔・人柄)」

すがすがしい【清々しい】爽やかで気持ちがよい。

「一(高原の朝・空気・空・香り・笑顔)」

爽快【一(高原の朝・空気・空・香り・笑顔) / 爽やかだ・すっきりする】

「一(強烈な・穏やかな・言いようのない・勝利の)一」

爽快【一(高原の朝・空気・空・香り・笑顔) / 爽やかだ・すっきりする】

「気分一 / 一な(感覚・歩行・山登り) / 海沿いの道を一に走る」

すっきり【不快なことやわだかまりがなく、気持ちがよい様子。余計なものがない様子。】

「(気分・頭)が一する / 一した目覚め / 今一つ一しない / 不要な物を処分し、部屋が一した」

さっぱり【余計なものや汚れ、わだかまりなどがなくなり、気持ちがよい様子。すっきり。】

「髪を切って一風呂浴びて・恋人と別れて一した」

すかっと【余計なものがなく、気持ちがよい様子。また、心が晴れて爽やかになる様子。】

「一晴れた空 / 胸が一するような勝ちっぷりだった」

すっと【わだかまりや不快さが消え、気持ちがよくなる様子。】

「(気持ち・胸)が一する / 言うだけ言ってやって一した」

せいせい【清々・晴々】鬱屈した思いやわだかまりが消え、気持ちがすっきりとする様子。

「ようやく仕事が終わって一とした」

気が晴れる【憂鬱な気持ちがなくなり、すっきりする。】

「散歩をすると一 / 言いたいことを全部言って気が晴れた」

吹っ切れる【心の迷いやわだかまりがなくなり、すっきりする。】

「(悩み・迷い)が一」

溜飲が下がる【溜飲が下がる】不満や恨みなどがなくなり、気が晴れる。

「きみが部長を言い負かしてくれて溜飲が下がったよ」

* 溜飲が下りるともいう。

胸が空く【一ようなホームラン】

「一(胸)がすっとするようで、とても爽快」

「一な(気分・事件・物語)」

晴れやかだ

晴れやか【一(と)した(気分・心持ち・表情・笑顔) / (気持ち・心)が一(と)する】】

「一(と)した(気分・心持ち・表情・笑顔) / (気持ち・心)が一(と)する」

晴れ晴れ【一(と)した(気分・心持ち・表情・笑顔) / (気持ち・心)が一(と)する】】

「一(と)した(気分・心持ち・表情・笑顔) / (気持ち・心)が一(と)する」

うららか【麗らか】①空が晴れ、太陽がのどかに照っている様子。

「一(陽気・春の日・空)」

②気持ちが声などが、晴れ晴れとして明るい様子。

「一(鳥の声・気分)」

その他の表現

リフレッシュ・クール



満足だ

→ うれしい／楽しい／安心だ／気楽だ・リラックスする

基本の表現 満足だ・満ち足りている

満足 まんぞく 望みどおりになっていて、不足や不満がない様子。

「一顔／一感を得る／一がいく／一のため息／(じゅうぶん・大いに・すこぶる・この上なく)一する」

満ち足りる みたり 満足する。充足する。

「(気持ち・心が・物心共に)一／満ち足りた(生活・眠り・表情・笑み)」

充足 じゅうそく 必要や欲求がじゅうぶんに満たされる様子。

「一感／(精神・心・ニーズ)の一／欲求が一される」

満悦 まんえつ 満足して喜ぶ様子。

「一至極／至極ご一の体／思い通りに事が進み、社長もご一だ」

悦に入る えつい 物事がうまくいって、満足して喜ぶ。

「狙いが当たって一／悦に入った表情」

飽きる あきる じゅうぶんに満足し、それ以上欲しくなくなる。

「一ほど食べた／一こなく見ている」

飽き足りる あきたり じゅうぶんに満足する。

「飽き足りない気持ち／平凡な暮らしに飽き足りなくなる」

堪能 たんのう じゅうぶんに楽しみ、満足すること。

「(料理・芝居)を一する」

会心 かいしん 出来栄えや物事の運びにじゅうぶん満足すること。

「一の作／一の笑みを浮かべる」

気が済む きげすむ 満足して、気持ちが落ち着く。

「一まで遊ぶ／隅々まで調べて気が済んだ／何でも自分でしないと気が済まない」

意に合う いかな 気持ちや願いにぴったり合う。

「一(人材・相手・就職先)を見つけた」

申し分ない もうぶんない 不満に思う点がない。

「一(成果・出来栄え・相手)」

本望 ほんもう 前々からの望み。また、その望みが達せられて満足なこと。

「一を遂げる／そうできるのなら一だ」

御の字 おんじ じゅうぶんに満足でき、ありがたいこと。

「1万円で済むのなら一だ」

心行くまで こころゆくまで じゅうぶんに満足し、思い残すところ

ろがなくなるまで。気が済むまで。「一(遊ぶ・話す・飲み食いする・名画を味わう)」

遺憾なく い かん じゅうぶんに。申し分なく。

「(実力・才能・芸)を一発揮する」

*「遺憾」は期待するようにならず心残りであること。

上機嫌 じょうきげん 満足するなどして、とても機嫌がいい様子。

「発表がうまくいって一だ」

ご機嫌 ごきげん 上機嫌な様子。

「業績がよく、社長も一だ」

自足 じそく 自分の状況やおこないに自分で満足すること。

「(つまいい暮らし・作品の出来)に一する」

自己満足 じこまんぞく 他からの評価に関係なく、自分自身や自分の行為にひとりで満足すること。

「一に陥る」

* 否定的なニュアンスで用いられることが多い。

よしとする よし じゅうぶんに満足ではないが、良いことにする。

「ここまでできたのだからよしとしよう」

足れりとする たり じゅうぶんだ、満足だということにする。

「希望よりやや少ないが、これで足れりとしてしよう」

安んじる やす その状態で満足して、それ以上を求めない。

「(現状・清貧)に一／小成(=わずかな成功)に一／安んじて暮らす」

* 安んずるともいう。

甘んじる あま 不満があっても、与えられたものを受け入れ、良しとする。

「(薄給・低い地位・次点)に一／(運命・非難・嘲笑)を甘んじて受ける」

* 甘んずるともいう。

以て瞑すべし もつめい それで満足すべきである。

「決勝戦まで来れたのだから、一だ」

* 「瞑する」は目を閉じる・安らかに死ぬ意。

その他の表現

知足・足るを知る

